

vol.
209

2020 Oct

赤十字かごしま



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

〔特集〕

赤十字の活動を支える
ボランティア



私たちも赤十字を サポートしています!!



赤十字の活動は赤十字の人道（人の命と尊厳を守り、苦痛を軽減しようとする気持ち）を理解し、支援しようとする赤十字ボランティアにより支えられています。

災害時の炊き出しや献血の呼びかけなど、赤十字ボランティアの活動はさまざまです。今日もたくさんのボランティアが「誰かのために」思いやりと勇気をもって、活躍しています。

色々な活動をしていても「苦しんでいる人を救いたい」という思いは、みんな同じ。今回は、赤十字で活躍するボランティアの活動と魅力をご紹介します！

地域赤十字奉仕団

委員長：伊佐 幸子

○活動内容

地域赤十字奉仕団は、第一に苦しんでいる人を助けるという任務を担っています。人道という精神の下、各地域の高齢者支援サロンの開催、子育て支援、献血時のお手伝い、災害時には炊き出し等を行い、避難所で支援ボランティアとして活動しています。

○イチオシ！！

様々な活動を通じて、人員不足が否めません。人々の命を助けるということは赤十字が一番に目指し、目的としていることです。

近年は災害が大規模化・多発化しています。皆様どうぞ赤十字会員として活動にご参加ください。

○みなさまへ

鹿児島県地域赤十字奉仕団は結成以来、71年間活動を続けてまいりました。身近な人々の命を守る活動をこれからも続けてまいります。献血事業、活動費の募金等もますます大切な仕事となります。県民の皆様どうぞ奉仕団活動にご参加ください。



青年赤十字奉仕団

委員長：中俣 春香

○活動内容

・特別養護老人ホーム錦江園でイベント補助や清掃活動・街頭募金活動・救急法等講習イベントの補助
・かごしま錦江湾サマーナイト花火大会での救護所補助・日赤本社等での研修など、多くの活動に参加しています。また、年に一度の団内研修で団員同士の意識を共有しています。

○イチオシ！！

近年、私たちは防災を主として活動を行っています。鹿児島では災害が多く、防災意識を高めることは非常に重要です。そこで支部の活動のお手伝いや県外の青年奉仕団との勉強会、それを生かした団内での研修を行い、私たちに出来る防災を考えながら頑張っています。

○みなさまへ

現在、学生と社会人の17名で活動しています。月一回の定例会やメンバーとの親睦を目的としたキャンプや食事会を行い、活動しやすい環境づくりを心がけています。資格は不要です！是非一緒に活動しましょう！

お問い合わせはこちらをお願いします→099-252-0600(支部事業推進課)



赤十字アマチュア無線奉仕団

委員長：松木 孝生

○活動内容

昭和50年2月にアマチュア無線奉仕団を結成しました。災害時には被災地に出動し、無線技術を用いて救護所の情報等通報を行い、日赤医療救護班の後方支援にまわります。
また、防災訓練では、全国にあるアマチュア無線奉仕団と通信訓練を重ね、技術を磨いています。

○イチオシ！！

アマチュア無線は、試験に合格し免許を取得しないと取り扱うことができません。
ですが、外国人やISS国際宇宙ステーション、南極無線局の方々と交信することもあるので、日常では味わえない体験ができるのも大きな魅力のひとつです。

○みなさまへ

アマチュア無線奉仕団は県内各地で活動しています。防災訓練に参加し、技術を磨きつつ、時には被災地に出動し、情報収集等支援を行うなどやりがいがあります。現在、団員を募集しています。一緒に活動しませんか！？



赤十字安全奉仕団

委員長：岩屋 幹夫

○活動内容

赤十字安全奉仕団は、救急法・水上安全法・幼児安全法・健康生活支援講習の4つの講習を行っており、令和元年度は330回実施しています。依頼を受けた講習会場に足を運び、赤十字の思いを受講する皆様へ伝えつつ、講習普及を行っています。

○イチオシ！！

身近な人を救うため、とっさの手当てや日常生活での事故防止など、健康安全に関する知識・技術の普及と啓発を行っています。
救急法などの講習を受講し、貴方も「指導員」を目指してみませんか。
赤十字の活動に興味のある方をお待ちしています。

○みなさまへ

鹿児島県は、豊かな自然に恵まれています。台風や豪雨などの自然災害が発生しやすい地域です。高齢化も進み、お互いに助け合う「共助」が命を守ることに繋がります。講習をはじめ、赤十字の事業に関心をお寄せいただければ幸いです。



青少年赤十字賛助奉仕団

委員長：野村 大綱

○活動内容

青少年赤十字は、赤十字の精神「人道・博愛」の元、実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を掲げ、態度目標「気づき、考え、実行する」力を身につけてほしい教育活動です。賛助奉仕団は、青少年赤十字の普及、赤十字の発展・啓発に寄与することを目的に活動しています。

- ・学校(園)の登録式における赤十字活動への意欲の喚起
- ・小・中・高校生リーダーシップ・トレーニング・センターにおける学習支援
(赤十字と青少年赤十字、心肺蘇生やAED操作方法の健康・安全プログラム、防災・減災プログラム、いじめや新型コロナウイルスに関するワークショップ)

また、地域赤十字奉仕団、赤十字安全奉仕団、青年赤十字奉仕団との連携を図りながら活動を推進しています。

○みなさまへ

次代を担う子どもたちのために、青少年赤十字活動をご理解いただき、今後のご協力・ご支援をお願い申し上げます。



新型コロナウイルス感染予防について

鹿児島赤十字病院 感染制御実践看護師

新型コロナウイルス感染予防について、
すでに皆さんは色々ご存じかもしれませんが。
一人ひとりが感染防止の意識を高め、次のことを実践することが大切です。

Q 新型コロナウイルス (SARS-CoV.2) とは？

A コロナウイルスのひとつです。これまで人に感染するコロナウイルスは4種類知られており、風邪の原因の10～15%を占める病原体として知られていました。重症急性呼吸器症候群 (SARS) や中東呼吸器症候群 (MERS) も同じコロナウイルスのグループです。新型コロナウイルスの正体は徐々に明らかになってきましたが、ワクチンはまだありません。この新型コロナウイルス感染症は COVID.19 と呼ばれています。

Q 家庭でできる感染対策を教えてください

A **手洗い**：外出先からの帰宅時や調理前、食事前、トイレの使用後など、流水と石鹸でこまめに手を洗いましょう。
咳エチケット：マスクは正しく着用し、咳やくしゃみをするときはティッシュやハンカチ、服の袖で口や鼻を覆いましょう。
掃除：みんなが触れる場所（テーブル、ドアノブ、リモコンのスイッチ、便座など）のこまめな掃除を行いましょう。

Q どうやって感染するのですか？

A おもに飛沫（ひまつ）感染と接触感染が考えられています。
飛沫感染：感染した人の飛沫（咳、くしゃみ、つばなど）の中に含まれているウイルスを口や鼻から吸い込むことにより感染することです。**大声で会話**することで、より粒子の小さなマイクロ飛沫を吸い込むことによる感染も指摘されています。
接触感染：感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスが付きます。他の人がその物や場所を触るとウイルスが手に付着し、その手で目・鼻・口に触れることで体内に入り込んで感染することです。

Q 日常生活で注意すべきことは？

A ・3密（密閉、密集、密接）を避けましょう。
・窓やドアを開け、こまめに換気しましょう。
・バランスの取れた食事摂取、適度な運動、休養・睡眠などで健康管理に努めましょう。



Q これからの時期、インフルエンザも心配です

A インフルエンザの場合も手洗いやうがいをする、マスクの着用、人混みを避けるなど基本的な感染対策は同じです。十分な休養と栄養摂取で抵抗力を高めるようにしましょう。また流行前に予防接種をすることも有効な方法です。

献血は 定期的 かつ 継続的 な ご協力が必要です。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言解除以降も、時差出勤やテレワークの推奨、不要不急の外出を控える動きが強まり、**全国的に深刻な献血者減少が続いています。**

輸血用血液は有効期限があり、全国で毎日約3,000人の患者さんが絶えず輸血を必要としています。

ぜひ、お近くの献血ルームや献血バスで「定期的」かつ「継続的」な献血にご協力をお願いいたします。



鹿児島赤十字
血液センター HP



献血キッズクラブ ひんけっちゃん

赤十字オリジナルグッズを 5名様にプレゼント!!

何が届くかお楽しみ♪
たくさんのご応募お待ちしております!!



【応募先】
MAIL shibu-rc@kagoshima.jrc.or.jp
FAX 099-258-7037
郵送 〒890-0064 鹿児島市鶴池新町1-5
日本赤十字社鹿児島県支部
「赤十字かごしま」プレゼント係

締切:令和3年2月28日消印有効

【明事項】
①お名前
②郵便番号・住所
③電話番号
④年齢
⑤「赤十字かごしま」の
入手先
⑥ご意見・ご感想など

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
※本プレゼントの応募を通じてご提供いただきました個人情報、本プレゼントの運営に関すること以外の目的で使用することはありません。



赤十字見学者募集!

皆様からお寄せいただいたご寄付がどのように使われているか見学してみませんか? 詳細は左記連絡先へお問い合わせいただくか、またはホームページ「施設見学」メニューをご覧ください。